仕　様　書

品名コード	ユ６７１００

１　品名
　棒型欧文日付印活字類セット（浸透式）

２　数量
　９２４式

３　規格及びセット内訳

	品　名	規　格	１セットの内訳
(1)	棒型欧文日付印（浸透式）置台	別紙１のとおり	１個
(2)	棒型欧文日付印（浸透式）活字入箱	別紙２のとおり	１個
(3)	錆桔梗色肉じゅう（浸透式）	別紙３のとおり	１本
(4)	棒型欧文日付印月活字（浸透式）	別紙４のとおり	１組
(5)	棒型欧文日付印日活字（浸透式）	別紙５のとおり	１組
(6)	棒型欧文日付印時間活字（浸透式）	別紙６のとおり	１組
(7)	取扱説明書	―	１部

※　上記(7)の内容は、日本郵便株式会社国際事業部オペレーション企画担当（以下「主管担当」という。）から別途指定する。

４　包装
(1) 上記３(4)から(6)までを上記３(2)に収納すること。
(2) 輸送途中に破損しないよう上記３(1)から(3)まで及び(7)をそれぞれ包装し、以下の寸法のボール箱に収納し、箱上面に品名コード、品名及び別添７に定めるバーコード（以下「別添７のバーコード」という。）を表示すること。
ア　寸法　約１３０ｍｍ×約２２０ｍｍ×約６０ｍｍ
イ　留め金加工は不可とする。
(2) 上記(2)を、次の規格の段ボール箱に収納し、目貼りをすること。
　なお、梱包については、運送途上において内容物が破損等しないように、緩衝材を同梱する等適切な措置を施すこと。
ア　種類　両面段ボールシート　ＪＩＳ２種
イ　形式　０２０１形
ウ　寸法　約４００ｍｍ×約４５０ｍｍ×約４５０ｍｍ
エ　収納数量　４２式
オ　留め金加工は不可とし、上部は一文字止めとすること。

５　外装表示
　段ボール箱の側面（４面）の見やすい箇所に、品名コード、品名、内容数量、単位、製造年度、契約者名及び別添７のバーコードを表示すること（段ボール箱側面の短面（２面）については、全ての項目を表示することが困難な場合は、別添７のバーコードのみの表示でも可）。

６　納入場所及び納入期限等

⑴ 納入場所

別紙７のとおり

⑵ 納入期限

納入回ごとに、その納入期限とする日の前日から起算して３０日前の日までに日本郵便株式会社調達部物品契約担当（以下「物品契約担当」という。）から「納入内訳書」により通知する。

なお、納入期限は、２０１６年３月３１日（木）より後の日にはしないものとする。

⑶ 納入数量

納入回ごとの納入場所ごとの確定数量については、物品契約担当から「納入内訳書」により通知する。

⑷ 納入予定日の前日から起算して１０日前の日までに各物流センターに納入日時を確認すること。

なお、物流センターから納入日時の指定があった場合は、指定された日時に納入することとし、納入予定日の前日から起算して１週間前の日までに到着するよう、物流センターに納入予告書を送付すること。

おって、物品納入予告書には、物品契約担当から通知された購買発注番号を必ず記入すること。

⑸ 納品書の提出

納入の際は、「納品書」を提出すること。

なお、「納品書」の返送が必要な場合は、返信用封筒を添付すること。

⑹ 物流センターへの納入手順は、別添８のとおり。納入物品の持込み時の格納については、物流センターに確認すること。

７　納入前の品質確認

納入前に必ず日本郵便株式会社調達部総務・総括担当（以下「検査担当」という。）の品質確認を受け、合格すること。

なお、品質確認希望日の前日から起算して７営業日（この仕様書において「営業日」は、行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日以外の日とする。）前の日までに確認日、確認場所等について検査担当と協議を行い、同担当に「品質確認申請書兼実施指示書」を提出すること。

８　納入後の検査担当への書類の提出

納入の際は、納入先に納品書を提出の上、受領者の記名・押印及び検収日の記載を受け、最後に納入した納入場所への納入日（納入場所で受領した日）の翌日から起算して５営業日以内に検査担当に提出すること。

９　第三者の工業所有権の実施

⑴ 本件納入物に限り、以下の工業所有権の使用について、利権者から日本郵便株式会社が承諾を受けているものである。

意 匠 権	登録第 1005322 号、登録第 1000744 号、登録第 1031862 号、 登録第 1031863 号、登録第 1031864 号、登録第 1031865 号、 登録第 10418817 号
実用新案権	登録第 2504362 号

(2) 契約者は物品の製造に当たり、第三者の工業所有権又はノウハウ（営業秘密）を実施し又は使用するときは、その実施又は使用に関する一切の責任を負うものとする。
(3) 本仕様書に基づく作業及び納入物品に関し、第三者との間に工業所有権に係る紛争が生じた場合は、契約者の責任、負担において一切を処理すること。
　この場合、日本郵便株式会社に係る紛争の事実を知ったときは契約者に通知し、必要な範囲で訴訟上の防衛を契約者に委ねる等の協力措置を講ずるものとする。

10　その他
(1) 詳細については、主管担当に確認すること。
(2) 物品契約担当において別添７のバーコードの読取り確認を受けること。
(3) 個装表示及び外装表示の校正については、上記７の品質確認を受ける日の前営業日までに物品契約担当において校正を受けること。
(4) 上記７の品質確認を受ける日の前営業日までに主管担当で印影の校正を受けること。
(5) 主管担当から交付した見本は、本件作業終了後速やかに返却すること。
(6) 本品納入に際して宅配便を使う場合は、「ゆうパック」を利用すること。
　なお、ゆうパックを利用する場合は、日本郵便株式会社が提供する送り状印字ソフトを利用して送り状を作成し、差出しを行う郵便局と調整の上、差し出すこと。ただし、当該ソフトをインストールできない場合は、主管担当から別途提供されるフォーマットで出荷データを作成し、差出しを行う郵便局に事前連絡の上、提供すること。

別紙１

規　格

（棒型欧文日付印（浸透式）置台）

１　本体及び専用置台の材質、形状、寸法等

別添１に示す図面によること。

２　本体及び本体置台の塗色

塗色は、本体置台Ａ、本体置台固定具を、アイボリー（光沢）とし、指定色は、Ｙ系、ニュートラルＮ７．５（マンセル値近似色）とすること。

なお、本体置台Ｂ、吸収体トレイ、カバーシートの塗り色は、赤（光沢）とし、指定色は、マンセル値　９Ｒ　４．５／１５の近似色とすること。

別紙２

規　格

（棒型欧文日付印（浸透式）活字入箱）

１　材料の特性

ＡＢＳ製樹脂とすること。

なお、形状等は別添２に示す図面によること。

別紙３

規　格

（錆桔梗色肉じゅう（浸透式））

１　色

錆桔梗色とする（主管担当より別途貸与する見本と比較して大差ないこと。）。

２　特性

⑴ 棒型欧文日付印軸（浸透式）用の肉じゅうとして、支障なく使用できること。

⑵ 切手印面及び各種式紙に押印し、長期間保存しても、押印した印影ににじみ、かすれ、退色及び変色が生じない品質を有すること。

⑶ 切手印面及び各種式紙類に押印した肉じゅうは、その表面で速乾・固化し、鮮明な印影を残す特性を有すること。

⑷ 本肉じゅうによる消印跡は、有機溶剤や消しゴムなどを用いて抹消、かいざんした場合に、その痕跡が目視により容易に確認できる物質的特性を有すること。

⑸ 本肉じゅうの品質については、日本郵便株式会社で定めている「納入物品試験方法（改訂版）」による所定の品質試験を満足するものであること。

３　容器

容器容量は２０ｃｃとし、形状は別添３図面によること。

別紙４

規　格

（棒型欧文日付印月活字（浸透式））

１　内訳

品　名	数量
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　１月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　２月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　３月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　４月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　５月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　６月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　７月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　８月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　９月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　１０月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　１１月	１個
棒型欧文日付印月活字（浸透式）　１２月	１個

２　形状

別添４図面のとおり

３　材料の特性

⑴ 活字は、耐久性に優れた発泡ＮＢＲとし、主管担当が別に指定する錆桔梗色肉じゅう（浸透式）が浸透でき、かつ、押印の都度鮮明な印影が保持できる特性を有すること。

⑵ 材料の構成

活字を構成する発泡ＮＢＲは、トップゴム部とベースゴム部の二重構造とすること。

⑶ スティックの形状等

スティック形状については、別添４図面によるほか、活字を更埴する際に、誤埴が生じない構造とし、丈夫に該当年の印影を印刷すること。

なお、月活字スティックには、アイボリーの着色を施すこと。

⑷ 活字の規格

ア　硬度

(ｱ) トップゴム部：４８±５　ＨＳ（Ｃ）

（JIS K6253〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

(ｲ) ベースゴム部：１５±５　ＨＳ（Ｃ）

（JIS K6253〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

イ　厚さ

トップゴム部：０．５ｍｍ～２．０ｍｍ

ウ　引張強度

５４ＭＰａ　±０．２ＭＰａ

（JIS K6251　1993〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

エ　伸び

１００％　±３０％

（JIS K6251　1993〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

オ　気孔

７５％　±３％

(5) 活字の字体

活字は、「Ⅰ.」～「ⅩⅡ.」とし、活字類の字体については、主管担当から別途交付する「日附印類文体規格集」によること。

別紙５

規　格

（棒型欧文日付印日活字（浸透式））

１　内訳

品　名	数量
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　３日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　４日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　５日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　６日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　７日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　８日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　９日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１０日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１１日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１２日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１３日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１４日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１５日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１６日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１７日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１８日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　１９日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２０日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２１日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２２日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２３日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２４日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２５日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２６日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２７日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２８日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　２９日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　３０日	１個
棒型欧文日付印日活字（浸透式）　３１日	１個

３　形状

別添５図面のとおり

４　材料の特性等

⑴　活字は、耐久性に優れた発泡ＮＢＲとし、主管担当が別に指定する錆桔梗色肉じゅ

う（浸透式）が浸透でき、かつ、押印の都度鮮明な印影が保持できる特性を有すること。

⑵ 材料の構成

活字を構成する発泡ＮＢＲは、トップゴム部とベースゴム部の二重構造とすること。

⑶ スティックの形状等

スティック形状については、別添５図面によるほか、活字を更埴する際に、誤埴が生じない構造とし、丈夫に該当日の印影を印刷すること。

なお、日活字スティックには、グレーの着色を施すこと。

⑷ 活字の規格

ア　硬度

㋐ トップゴム部：４８±５　ＨＳ（Ｃ）

（JIS K6253〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

㋑ ベースゴム部：１５±５　ＨＳ（Ｃ）

（JIS K6253〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

イ　厚さ

トップゴム部：０．５ｍｍ～２．０ｍｍ

ウ　引張強度

５４ＭＰａ　±０．２ＭＰａ

（JIS K6251　1993〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

エ　伸び

１００％　±３０％

（JIS K6251　1993〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

オ　気孔

７５％　±３％

⑸ 活字の字体

活字は、「－１.」～「３１.」とし、活字類の字体については、主管担当から別途交付する「日附印類文体規格集」によること。

別紙６

規　格

（棒型欧文日付印時間活字（浸透式））

１　内訳

品　名	数量
棒型欧文日付印時間活字（浸透式）　８－１２	１個
棒型欧文日付印時間活字（浸透式）　１２－１８	１個

２　形状

別添６図面のとおり

３　材料の特性等

⑴ 活字は、耐久性に優れた発泡ＮＢＲとし、主管担当が別に指定する錆桔梗色肉じゅう（浸透式）が浸透でき、かつ、押印の都度鮮明な印影が保持できる特性を有すること。

⑵ 材料の構成

活字を構成する発泡ＮＢＲは、トップゴム部とベースゴム部の二重構造とすること。

⑶ スティックの形状等

スティック形状については、別添６図面によるほか、活字を更埴する際に、誤埴が生じない構造とし、丈夫に該当時間の印影を印刷すること。

なお、時間活字スティックには、グリーンの着色を施すこと。

⑷ 活字の規格

ア　硬度

(ｱ) トップゴム部：４８±５　ＨＳ（Ｃ）

（JIS K6253〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

(ｲ) ベースゴム部：１５±５　ＨＳ（Ｃ）

（JIS K6253〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

イ　厚さ

トップゴム部：０．５ｍｍ～２．０ｍｍ

ウ　引張強度

５４ＭＰａ　±０．２ＭＰａ

（JIS K6251　1993〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

エ　伸び

１００％　±３０％

（JIS K6251　1993〔加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法〕に準じる。）

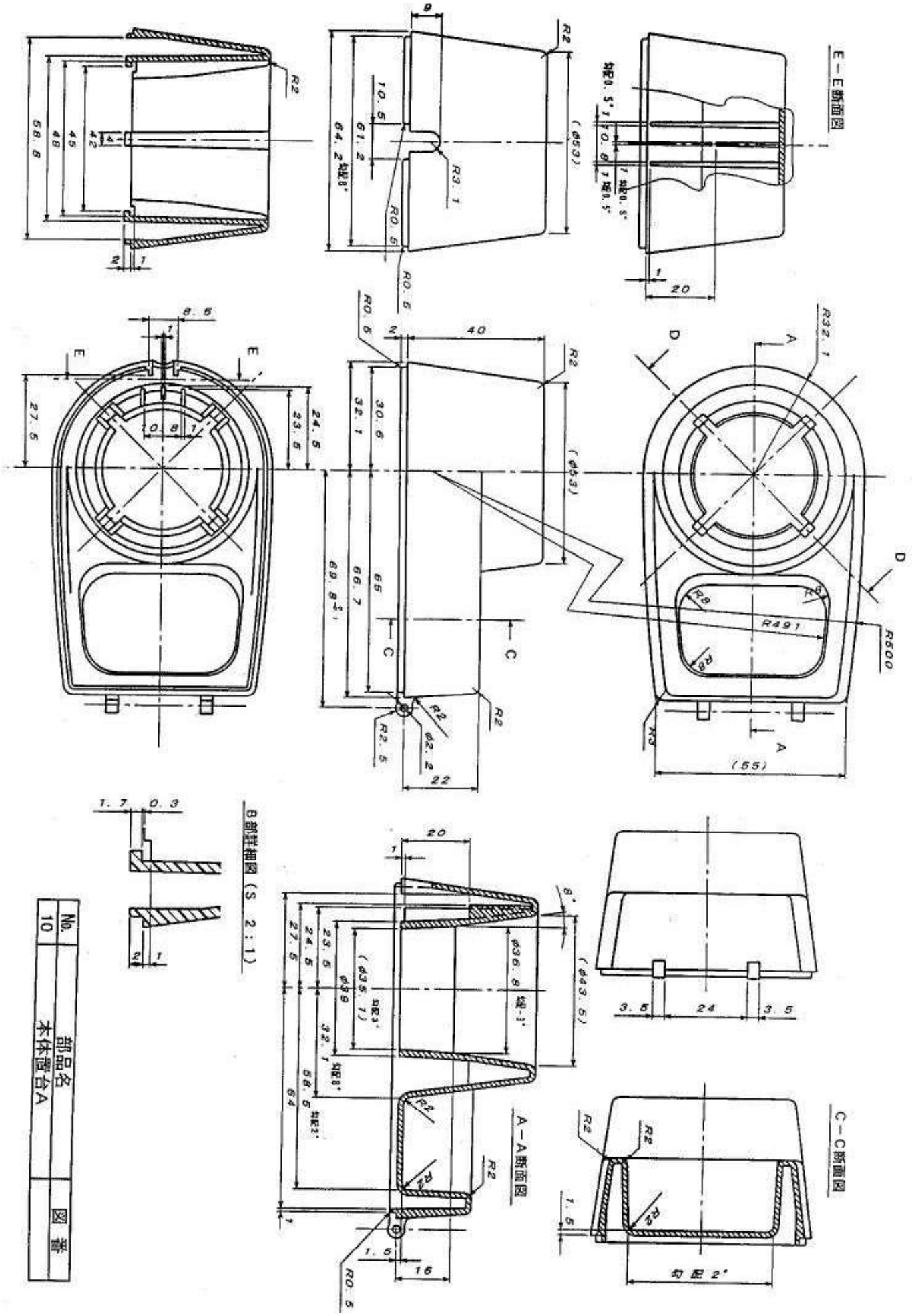
オ　気孔

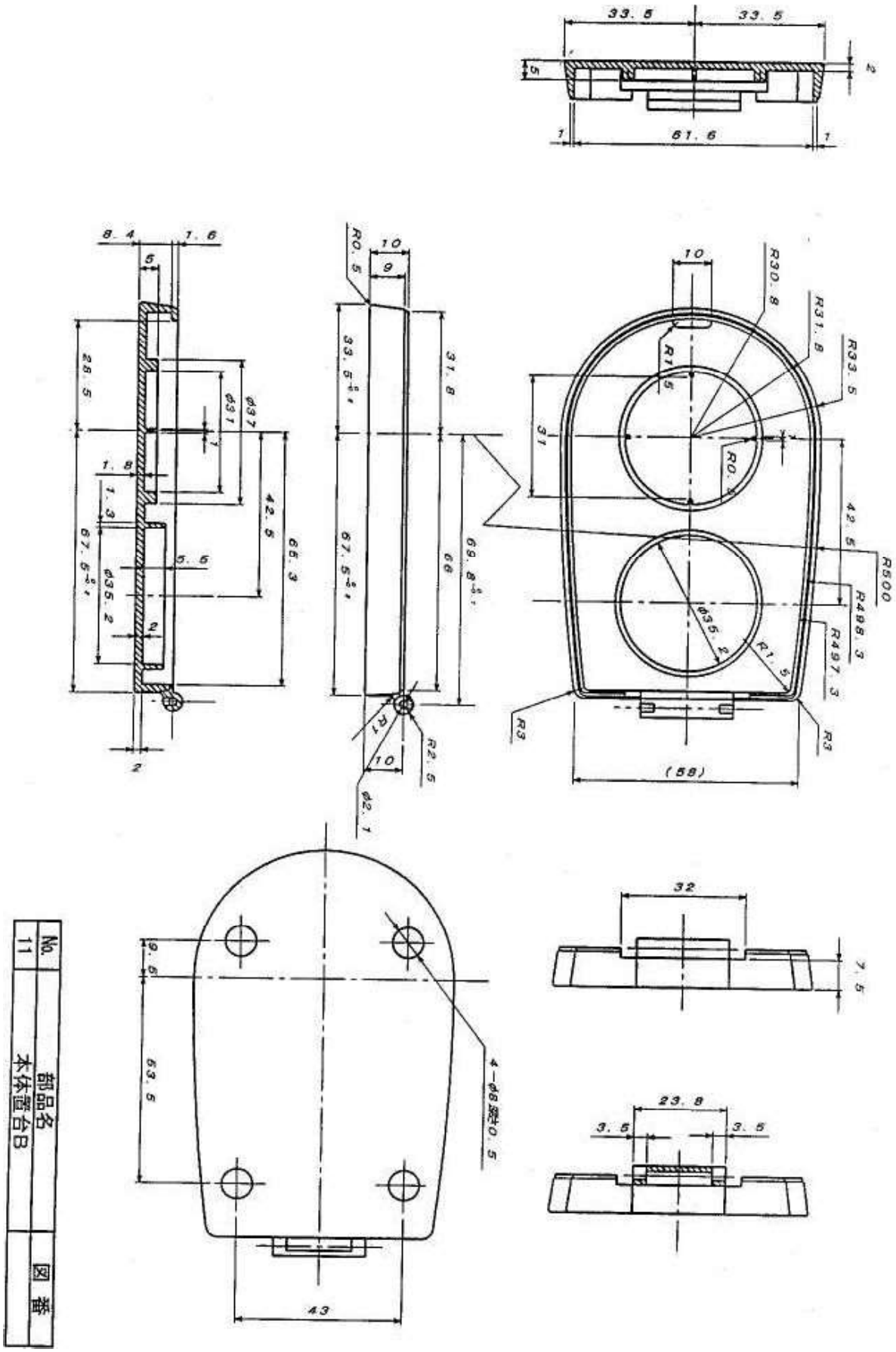
７５％　±３％

⑸ 活字の字体

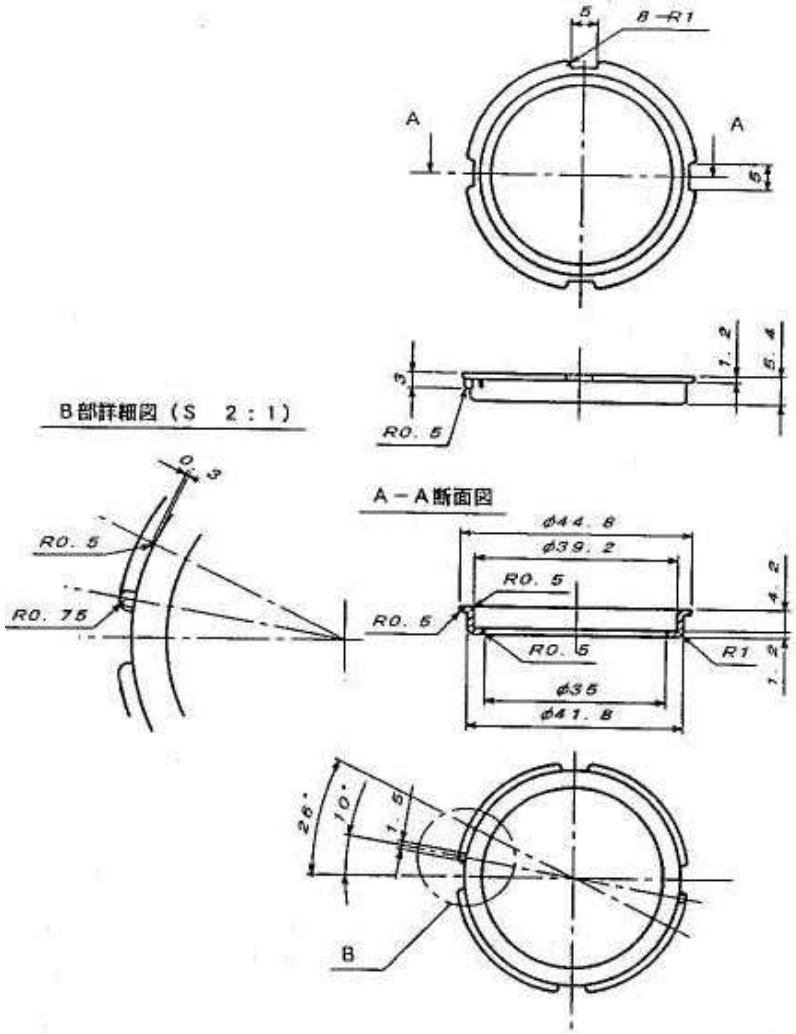
活字は、「８－１２」「１２－１８」とし、活字類の字体については、主管担当から別途交付する「日附印類文体規格集」によること。

別添１

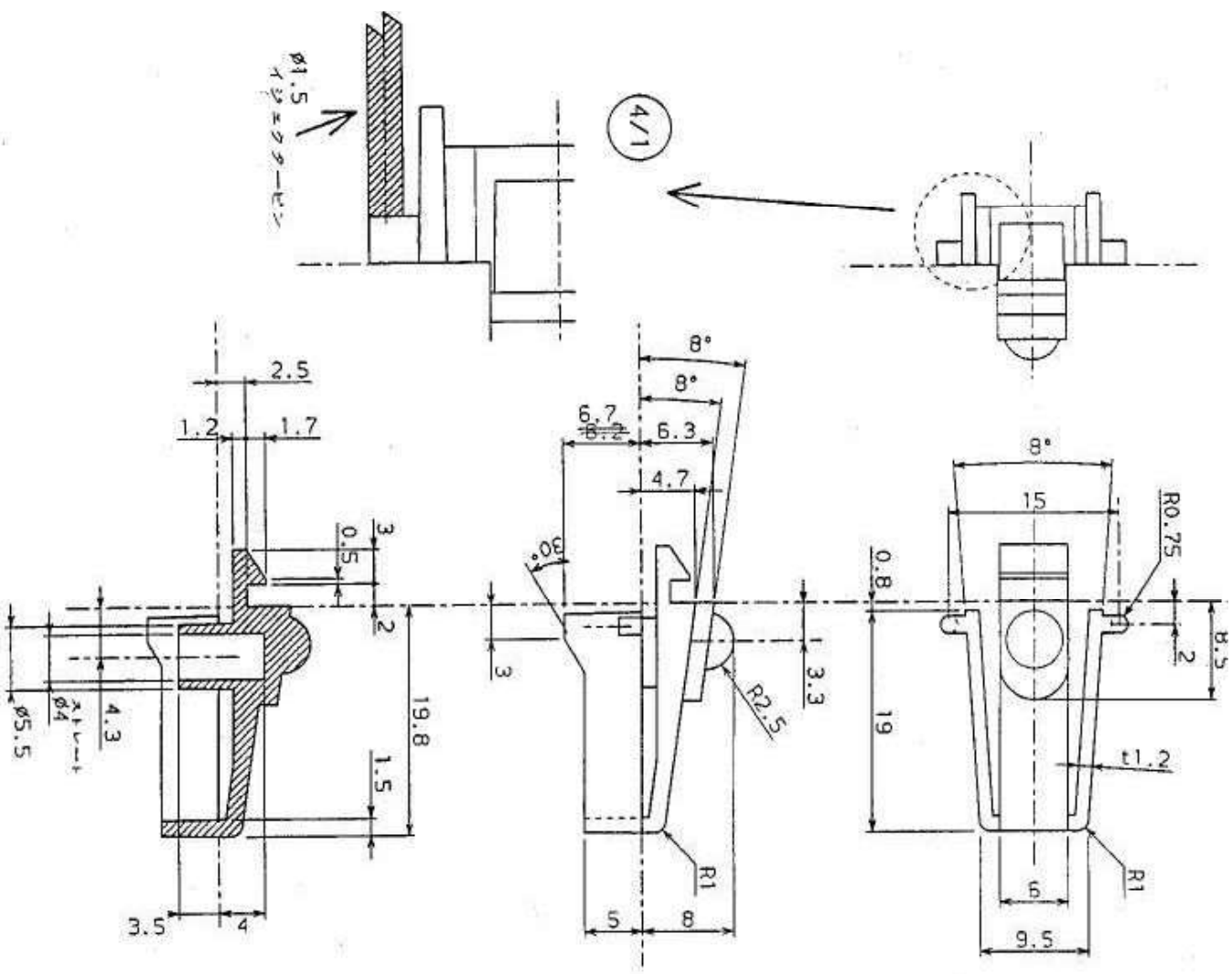

E－E断面図
B部詳細図（S 2：1）
A－A断面図
C－C断面図
R500
R491
R32.1
R3.1
(φ53)
(φ43.5)
(55)
20
40
22
16
(幻影2)
No. 10
部品名 本体蓋台A
図番



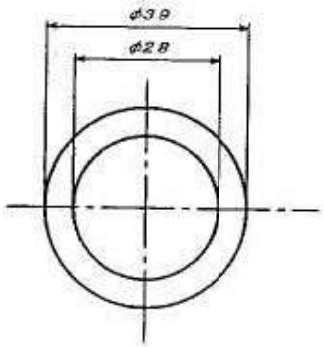
No.	部品名	図番
11	本体置台B	



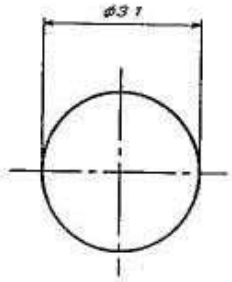
No.	部品名	図 番
12	吸収体トレイ	



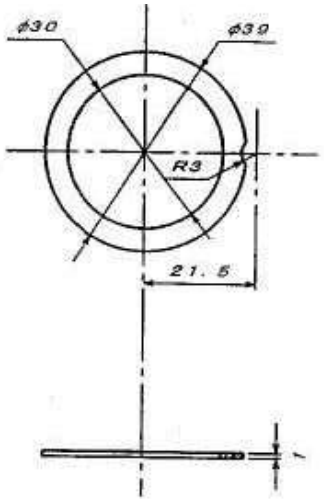
No.	部品名	図番
13	本体置台固定具	



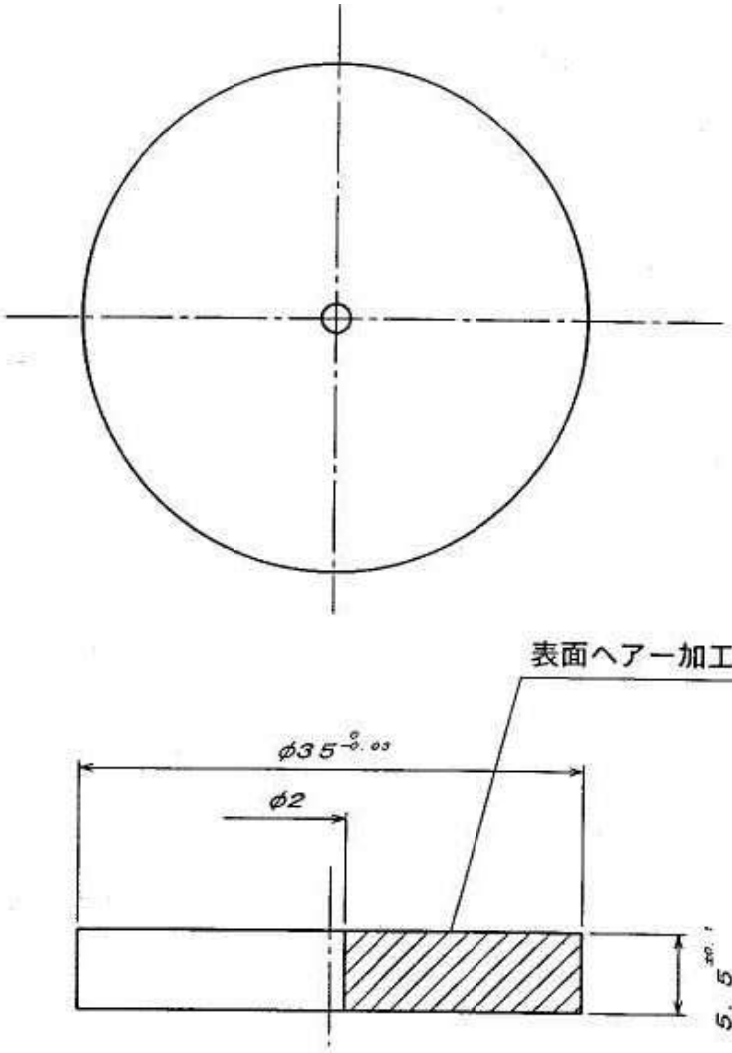
No.	部品名	図 番
14	吸収体A	



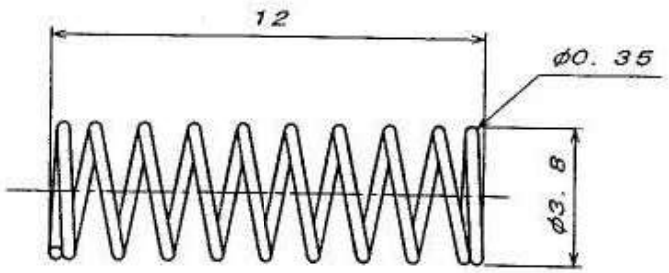
No.	部品名	図 番
15	吸収体B	



No.	部品名	図 番
16	カバーシート	

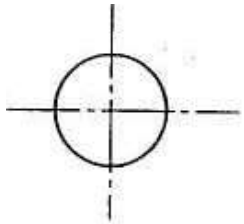


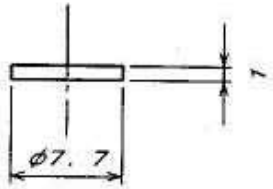
No.	部品名	図 番
17	おもり	



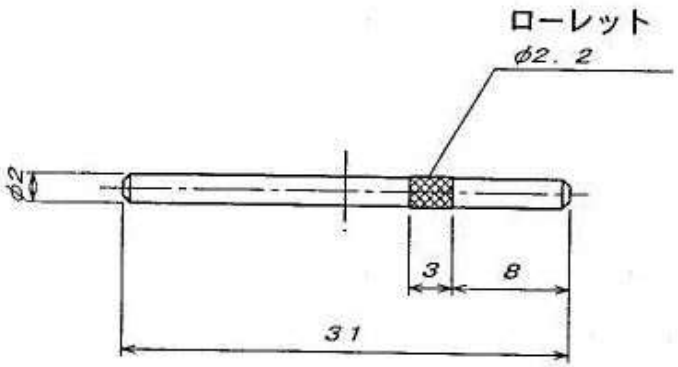
線径φ0．35X外径φ3．8XN10XL12．0両端密着

No.	部品名	図 番
18	本体置台用バネ	





No.	部品名	図 番
22	本体置台(滑り止め)	

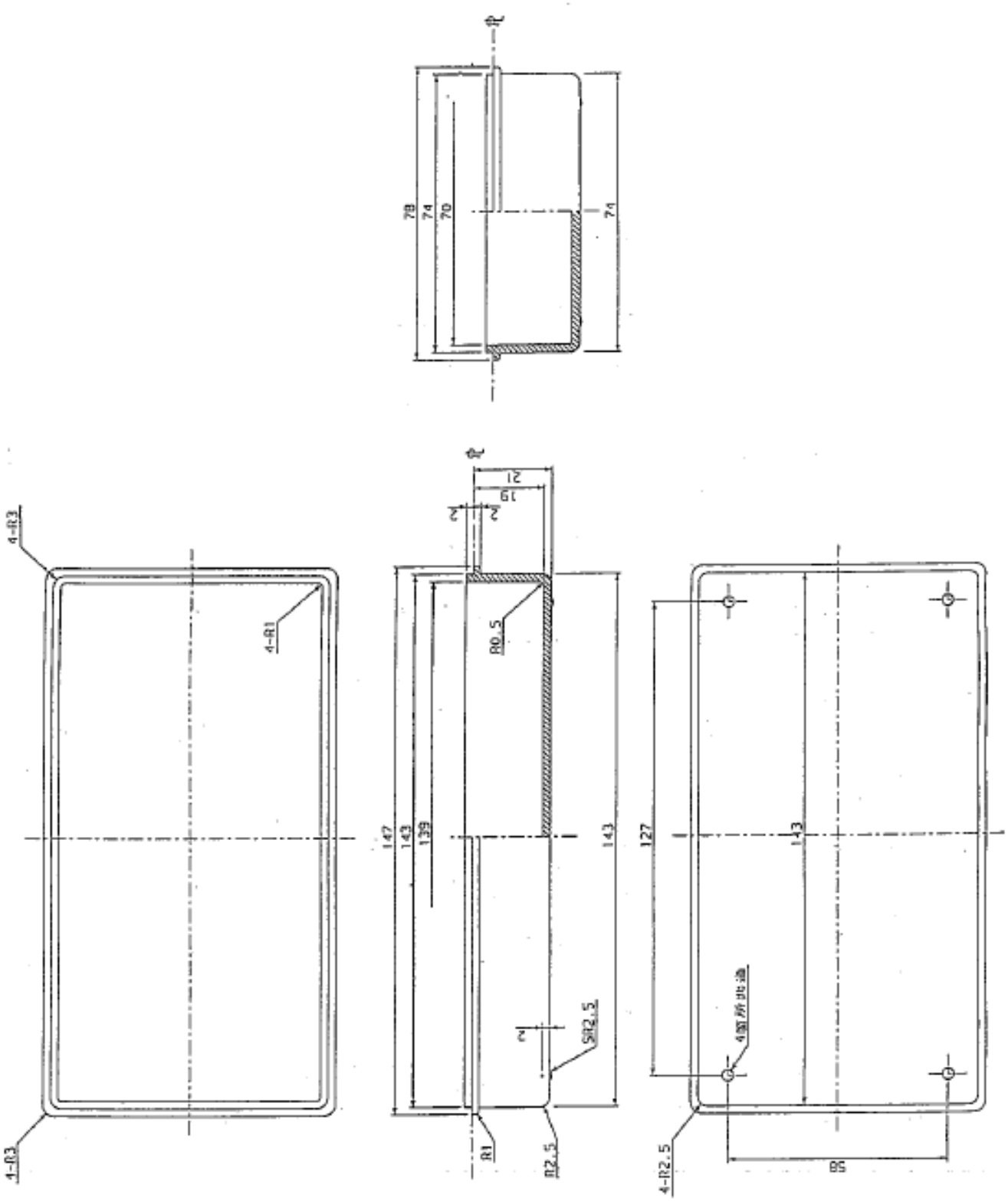


No.	部品名	図 番
23	本体置台(開閉軸)	

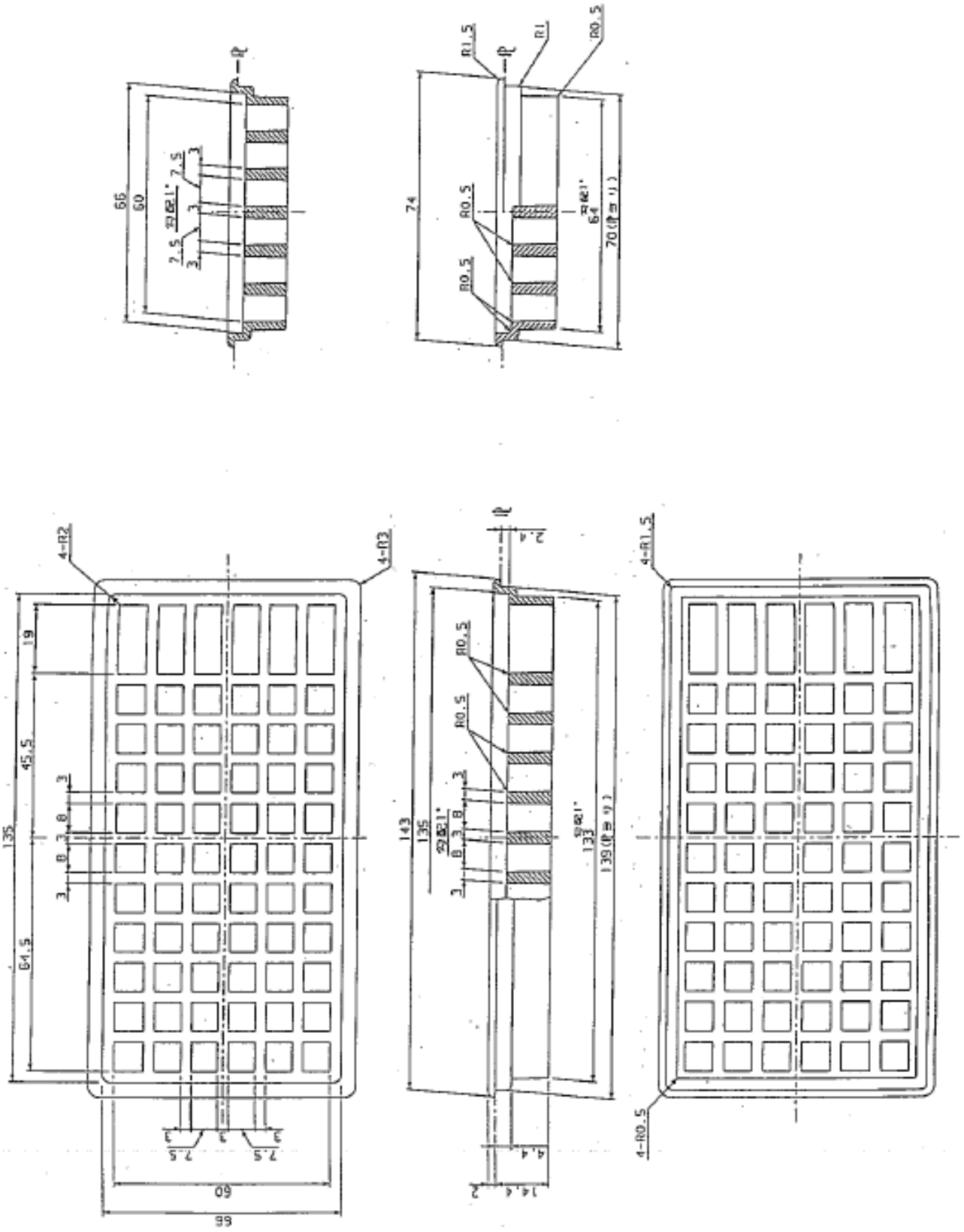
別添２

棒型欧文日付印（浸透式）活字入箱　図面

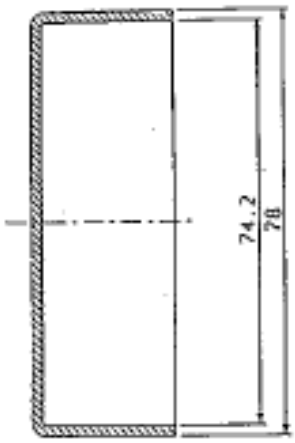
単位：mm

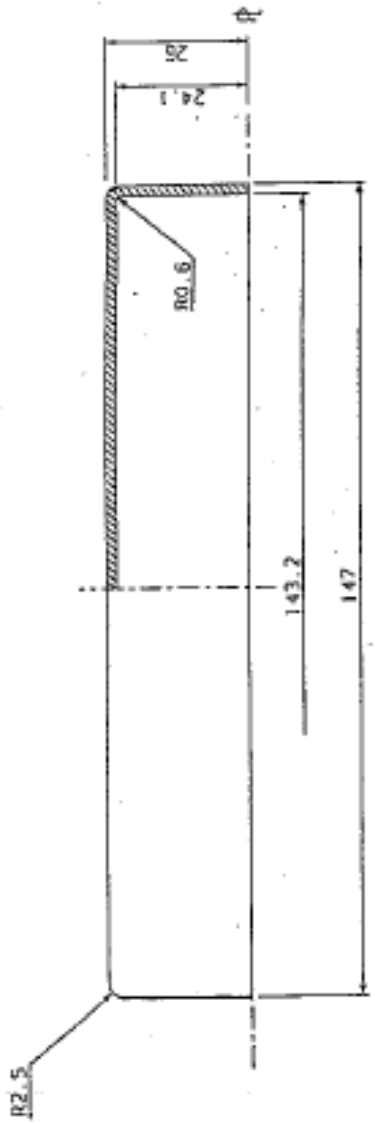


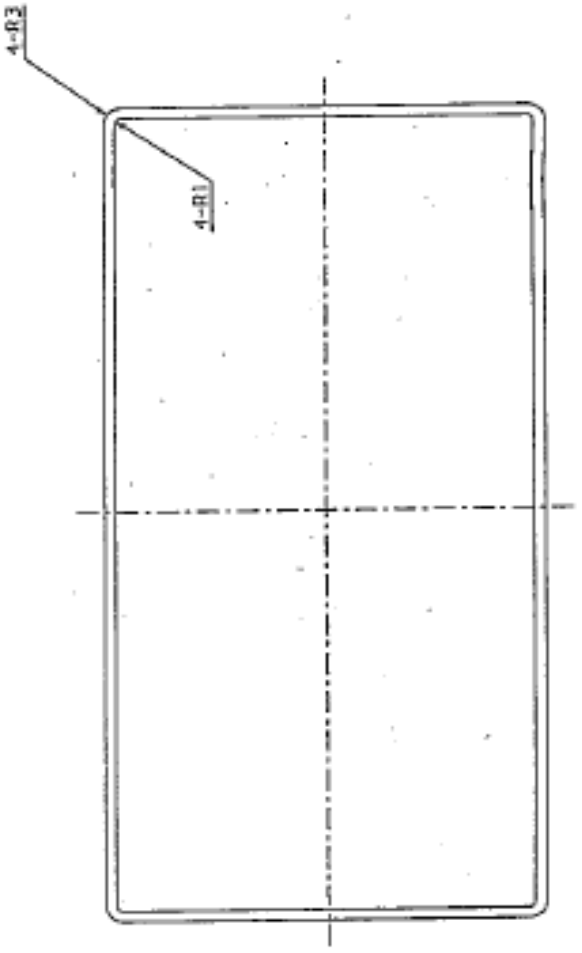
単位：mm

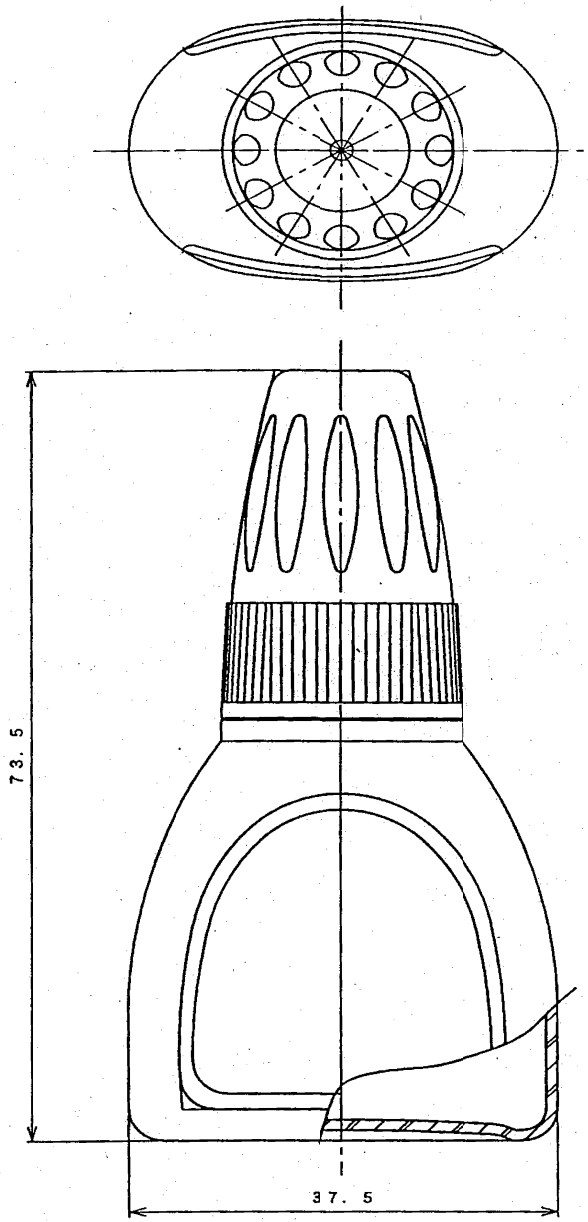

66
60
2.5
3
7.5
R1.5
R1
R0.5
74
64
70(作り寸)
4-R2
4-R3
19
45.5
135
64.5
3
8
60
68
143
133
139(作り寸)
4-R1.5
4-R0.5

単位：mm





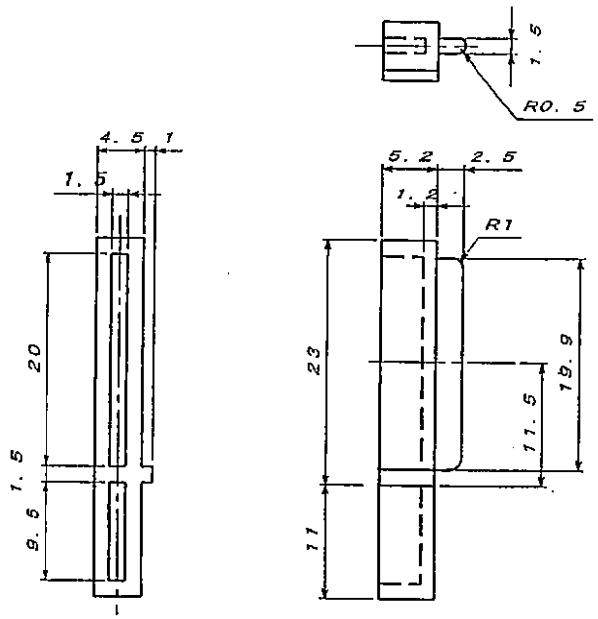




No.	部品名	図 番
31	肉じゅう	

別添３

単位：mm

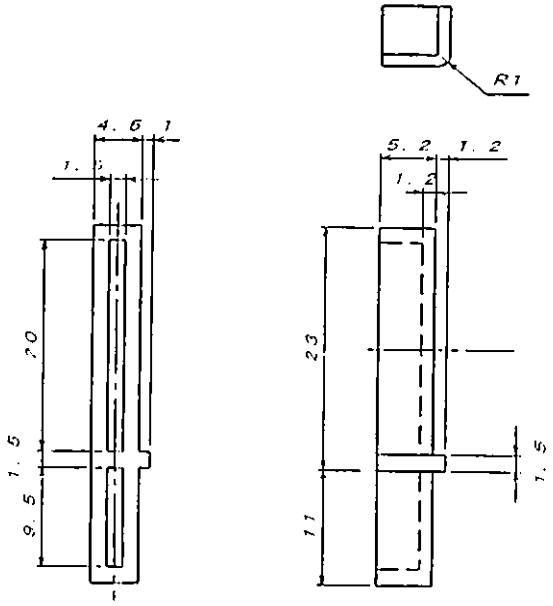


No.	部品名	図 番
5	差替スティック(年活字用)	

No.	部品名	図 番
6	差替スティック(月活字用)	

単位：mm

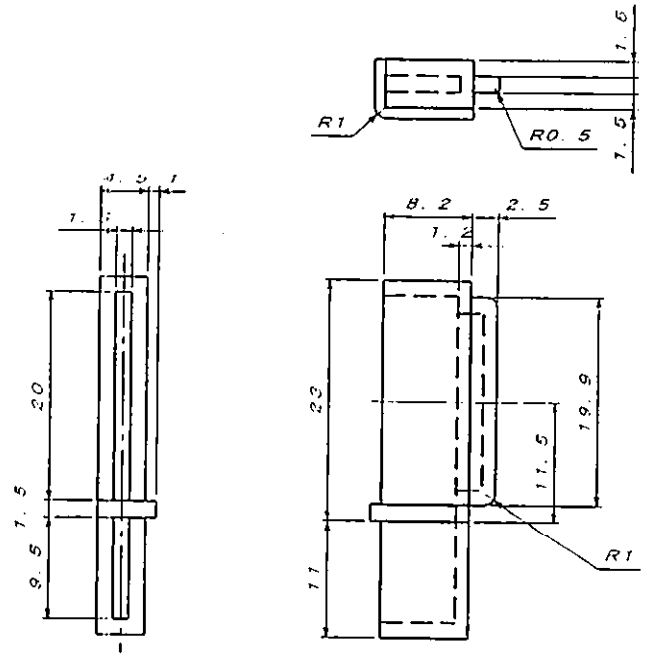
別添4



No.	部品名	図番
7	差替スティック(日活字用)	

単位：mm

別添5



No.	部品名	図 番
8	差替スティック(時間活字用)	

単位：mm

別添6

別紙７

納　入　内　訳　書

ユ67100　棒型欧文日付印活字類セット　（単位：式）

納　入　場　所	第1回	第2回	合計
北海道物流センター　(011-789-5351) 〒００７－８７９２ 札幌市東区丘珠町９０番地	42	42	84
東日本物流センター　(0297-27-4851) 〒３０３－８７９２ 常総市内守谷町きぬの里三丁目３８番地１号	168	168	336
西日本物流センター　(078-953-2270) 〒６５１－１３９２ 神戸市北区鹿の子台南町五丁目２番	168	168	336
九州物流センター　(096-356-5908) 〒８６０－８７９２ 熊本市西区春日五丁目１７番９号	84	84	168
計	462	462	924
納　入　期　限	2015年6月30日 （予定）	2015年10月30日 （予定）	

別添７

式紙及び外装に付定するバーコード仕様

１　バーコード規格

(1) シンボル

白黒バーコード　Interleaved Two of Five

(2) 桁数

全 14 桁（スタートコード及びエンドコードを除く。）

(3) 構成及び寸法

別図１「バーコード構成」による。

(4) 余白部分

クワイエットゾーン（バーコード両端の余白部分）は、5.080 ㎜以上とする。

(5) 印刷

ア　一般的留意事項

(ｱ) ボイド及びスポットは、下記(ｲ)に定める反射率及び下記イに定める PCS 値を満たすこと。

(ｲ) 印刷層における段差は、JIS X 0502 によること。

イ　光学的特性（PCS 値）

白バー及びクワイエットゾーンの反射率に対する黒バーの PCS 値は、0.45 以上とする。

$$PCS値 = \frac{RL - RD}{RL}$$

RL:白バー及びクワイエットゾーンの反射率(%)

RD:黒バーの反射率(%)

ウ　刷色は、赤系統の色を使用しないこと。

２　コード仕様（数値構成）

(1) 物品種別コード（1～2 桁目）

指定	種　　別	コード
	郵便用	１１
	交換局専用	１２
○	郵便用（消耗品）	３１
	交換局専用（消耗品）	３２

(2) 品名コード（3～7 桁目）

品名コードの 5 桁の数値による。

(3) 交付区分（8～9 桁目）

指定	交付区分	コード	指定	交付区分	コード
○	全国	００		東海	０７
	北海道	０１		近畿	０８
	東北	０２		中国	０９
	関東	０３		四国	１０
	東京	０４		九州	１１
	信越	０５		沖縄	１２
	北陸	０６			

(4) 版数管理コード（10～11 桁目）

同一の品名コードにおける内容の改訂等の管理コード

日本郵便株式会社調達部物品契約担当（以下「物品契約担当」という。）から別途通知する。

⑸ 号型管理コード（12～13 桁目）
式紙類及び消耗品類は「００」の固定とする。

⑹ チェックデジット（14 桁目）
1～13 桁のコード数値を以下により計算した値とする。
奇数（1、3、5、7、9、11、13）桁の数値×3
＋　偶数（2、4、6、8、10、12）桁の数値×1

※※※の下１桁の値
↓（下１桁の値が「0」の場合は、0 とする。）
10-※

⑺ 詳細は物品契約担当から別途通知する。

３　バーコードリーダーの読取り範囲

項　目	最　　小	最　　大	備　　考
高さ	10 ㎜以上	制限なし	
幅	21 ㎜以上	70 ㎜以下	
走査線	1 桁　0.15 ㎜以上	14 桁と左右ﾏｰｼﾞﾝで 70 ㎜以下（ｽﾀｰﾄ・ｴﾝﾄﾞを含む。）	左右ﾏｰｼﾞﾝ各 2.54 ㎜以上必要

４　外装に表示するバーコード（別図２「外装表示例」参照）
⑴ 段ボール箱の側面４面にバーコードを表示すること。
⑵ 下方がスタート、上方がエンドの縦置型とする。
⑶ バーコードの位置については、段ボール箱底面から 40㎜ 以上、天面から 6㎜ 以上離すこと。
⑷ 段ボール箱のサイズ等の理由により上記の指定によることができない場合は、物品契約担当に確認すること。

５　その他
⑴ 契約締結後速やかにバーコードの試作品を物品契約担当に提出し、読取り確認を受けること。
⑵ 詳細については、物品契約担当に確認すること。

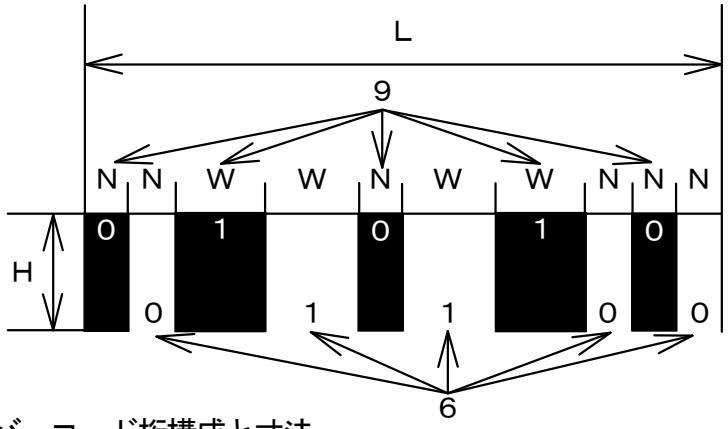
別図１

バーコード構成

ｷｬﾗｸﾀ	ｺｰﾄﾞ	ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ表示例(2 桁)	例ﾃﾞｰﾀ	ｷｬﾗｸﾀ	ｺｰﾄﾞ	ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ表示例(2 桁)	例ﾃﾞｰﾀ
ＳＴ	00			ＳＰ	10		
1	10001		１１	2	01001		２２
3	11000		３３	4	00101		４４
5	10100		５５	6	01100		６６
7	00011		７７	8	10010		８８
9	01010		９９	0	00110		００

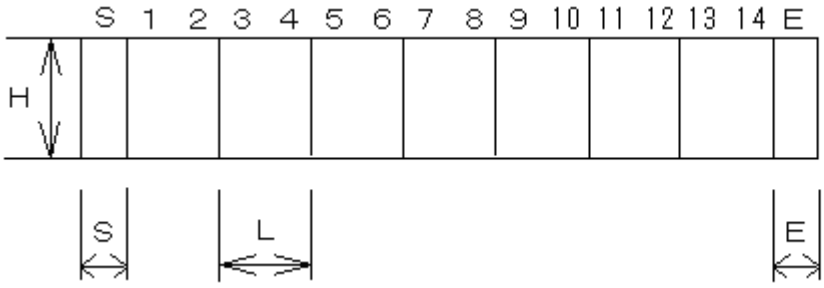
バーコード構成例

（数字９６の例）



記号　Ｌ：一対のキャラクタ寸法
Ｎ：細エレメント幅
Ｗ：太エレメント幅
Ｈ：バーの高さ
Ｓ：スタートコード
Ｅ：エンドコード

バーコード桁構成と寸法



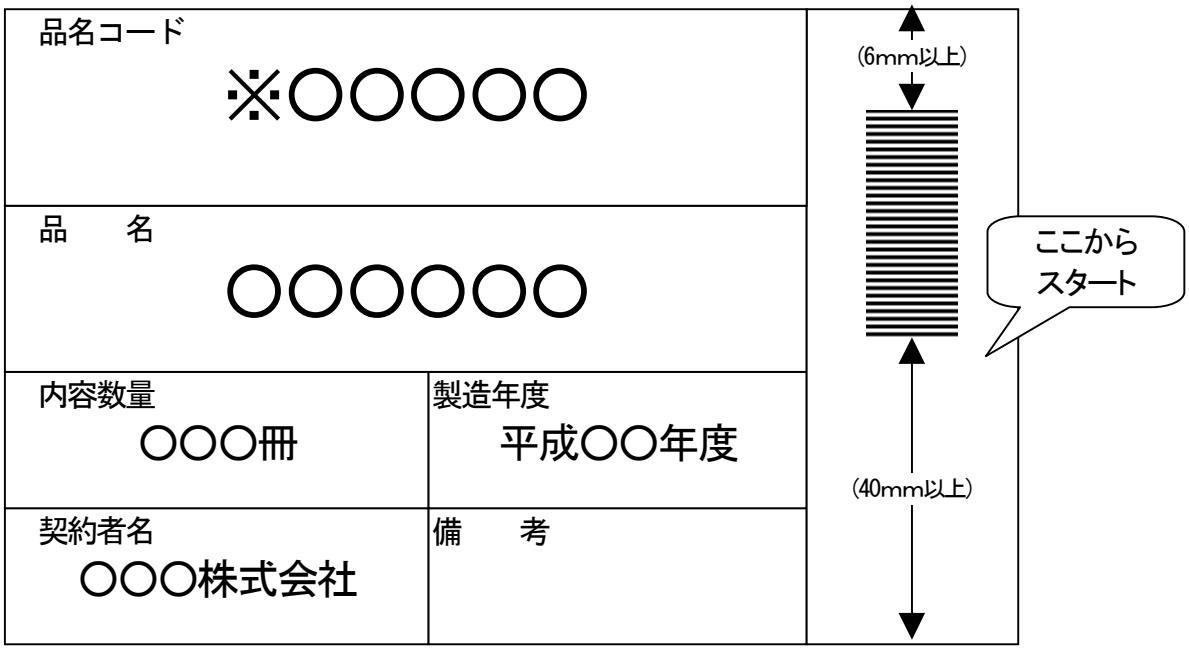
（桁番号）

寸法（単位：mm）

Ｌ：　8.148
Ｎ：　0.508
Ｗ：　1.270
Ｈ：15.900以上
Ｓ：　2.032
Ｅ：　2.286

別図２

（外装表示例）



※　この表示を段ボール箱（外側）の側面（４面）の見やすい箇所に表示する。
※　内容数量欄の「冊」は表示例。表示する単位は仕様書の単位を表示すること。

（式紙表示例）

※　詳細は主管担当から別途交付する見本のとおりとすること。

別添８

物流センターへの納入手順（ロジ物品）

１　納入に際しては、納入前の品質確認後直ちに物流センターと物品納入予告書に記載している事項全てについて調整を行い、物流センターの指定する日時・場所に納入する。

２　上記１で調整した**物品納入予告書は、納入日の１週間前までに物流センターに必ず到着するよう提出する。**

３　物流センターへの物品納入時においては、物流センター作業員に確認し、パレット等に物品を積み付ける。

４　積付けが安定しない物品については、ラッピングするなどパレット自動倉庫等への入庫及び保管に支障がないよう対処する。

５　物流センター作業員から自動倉庫等への入庫及び保管に支障がないことの確認を受ける。
　なお、積付けの原因により自動倉庫等への入庫及び保管ができない場合は、積付けをやり直し、再度物流センター作業員の確認を受ける。

６　**物流センターでは物流センター専用パレットの事前貸出しは原則として行わないが**、真にやむを得ない事情により物流センターと調整の上で事前に物流センター専用パレットの貸出しを受けた場合は、物流センター作業員からの指示に従い、物流センター専用パレットに物品を積み付けて納入する。
　なお、その場合も上記４及び５による。

参考（物流センター専用パレットのサイズ等）
　　パレット寸法　　1,100㎜（縦）×1,100㎜（横）
　　積付け荷姿　　1,000㎜（縦）×1,000㎜（横）×1,400㎜（高）
　　※　パレット外周寸法から50㎜ 内側に、また、高さは1,400㎜ 以内に積み付けること。

７　物流センター構内でトラックを駐車する際は、**必ずエンジンを切り、輪止めをする。**

８　物品納入に際しフォークリフトを使用する場合は、物流センター受付において必ず**フォークリフト運転講習修了証**の提示を行う。
　なお、フォークリフトの使用に当たっては、必ず**ヘルメット・安全靴を着用**する。
　また、何らかの理由によりフォークリフト、物流センター内備品、納入品等を損傷させた場合は、全額納入業者負担で弁償のこととする。

９　物流センターの入荷受付開始及び入荷受付終了時刻は、次のとおり（時間厳守）
　また、納入完了は、入荷受付終了時間から原則として１時間以内とする。
　北海道物流センター　8:30～15:00
　東日本物流センター　8:15～15:00
　西日本物流センター　8:30～15:00（開門時間は7:30）
　九州物流センター　　8:30～15:00
　※　**物流センターの周辺地域は、駐車禁止区域のため、夜間・早朝における物流センター及び近隣での待機駐車は絶対に行わないこと。**
　（トラック等のドライバーに待機駐車は厳禁の旨、必ず周知すること。）